東亞新秩序建設と回教問題（二）

箕浦亨

トルコは周知の如く回教王國として知られてゐる。マホメット教がこの地に傳播せられたのは、七世紀以降であり、一五一七年國王が回教のカリフを兼るに至つて一層發達し、一六八三年以來衰運に向ひ、かの歐洲大戰に破れて一九二八年回教を國教とすることを廢止し、政教分離せられ、回教は著しき衰退を見たのであるが、今なほトルコは回教民族の最大の獨立國であり、回教諸民族のうちで最も文化も發達し、國力においても他の回教民族の諸國に比べて、はるかに優れてをり、歐亞に跨る大國として、英、獨、伊、蘇等の列強との關係において、同時に近東アラビヤ諸國回教國との關係においてまたバルカン諸國との關係において、頗る重要な地位を占めてゐる。二千萬の人口の殆んどが回教徒であり、首都コンスタンチノープルには、回教の黃金時代を飾るに足る八百九十餘の回教寺院があり、回教は依然として、國民信仰の中心となつてゐる。トルコを中心とするアジア一帶は、歐洲大戰によつてトルコより分割獨立せしめられたが、アルメニアを除くシリヤ、メソポタミヤ等は、アラビヤ人、クルド人を中心とする回教國である。

トルコと共に輝しい古代の歷史をもつペルシヤにも、回教がいち早く傳はり現在シート派が盛んに行はれてゐる。中世以後においては、英露兩勢力の侵入を蒙り、半植民地的の地位に陷りつゝあつたが、リザ・カン・ペー・レヴイのもとに復興し、英蘇の角逐場であつた從來の地位を脫し、一九三五年に外國人の呼稱で、然も一地方的名稱に過ぎなかつたペルシヤの名を改めて、イランを以て國名とし政教分離を行ひ、大いに國政を改革し中央アジアにおける勢力を固めつゝある。

イランに連るアフガニスタンは、回教徒のサンナイト派として純然たる政教一致の回教國で、國民は頗る質實剛健で、最近は著しい躍進を示しつゝある。

次に印度が回教化された歷史は古い。史實によれば、回教は早くもマホメットの死後間もない頃、六四七年から六六四年の間に海路ボンベイに傳へられ、インダス河の流域に傳播して行つた。十世紀から十三世紀に亘るアリアン系王朝の衰微を機會に、西方から回教徒の侵入をうけたが、文化的に當時はるかに優秀であつたインド教の社會力によつて、却つて征服される結果となつてしまつた。十四世紀末のチムールのインド侵略に端を發するモゴール帝國の建設であるが、この間にはある程度まで、インド教文化と回教文化との融合が行はれ、インド教徒にして回教に轉宗する者も多數あり、南印度には五つのマホメツト王國さへ成立したので、この間に全印度はほとんど回教の洗禮をうけた。さうして一八五七年モゴール帝國が英國の印度征服によつて沒落するまで、輝かしい回教文化の榮華を維持することができた。

しかし、前後約八百年に亘る、モゴール帝國の治世にも拘らず、今日印度の回教徒の數は七千七百萬で、全人口の僅か四分の一に足らず、しかもその主要蝟集地は東部ベンゴールおよび、パンジヤップ以北に止まつてゐる。

南部印度においては、人口の五パーセント以下に過ぎず長い間回教王國の首都であつた、デリーラクノーにおいてすら、三分の一乃至三分の二にすぎない。現在印度最大の回教藩王國たるハイダラバードすら、その首都に全人口の一割にみたぬ回教徒しかゐないのは、果してどういふわけであらう。

インドの回教徒は、大部分がサンナイト派であるが、完全な資格をもつ者は割合に少く、地方によつて言語を異にし、或は印度教の影響をうけて階級制度を殘し、或はその祀る神をインド教と同じうし祭典にバラモンの僧を招く者インド教徒と同じく牛を一切食はぬものすらあつて、インド回教徒中の六割は、その風俗習慣が、ほとんどインド教徒と同一にみなし得る有樣である。

これは、インドが一般回教圈から、地位的に孤立してゐたこともあるが、結局印度在來の文化と、社會環境の同化力が強いため、完全な回教化を許さなかつたところへ、十八世紀の英國の侵入によつてますます不利に陷つたと觀てよいのである。一八五七年モゴール帝國の覆滅とゝもに、從來支配者としてインド教徒の上に君臨してゐた回教徒は今や彼等インド教徒と膝を並べて、新しい白人の支配者の前に叩頭せねばならなくなつたのみならず、インド教徒が英國の統治に順應する態度を示したので、回教徒はますます不遇の地位に轉落した。

そこで、印度の回教徒は、その地位を恢復するため、反英反歐の態度をすてゝ、英國政府の陣營に走る結果となつた。

好機を利用するに拔目のない英國は、その異民族統治の基調たる、いはゆる〃DIVIDE AND RULE〃の政策によつて、回教徒に保護を加へたので、爾來インド教徒は漸く對立し、つひに世界周知の犬猿も啻ならぬ相剋を來すに至つた。

大陸文學の將來（四）

飯島民三

では日本人の急激な流入によつて齎らされた日本文學は滿洲の都會に於ては如何なる結果を生んだか。

日本文化が滿洲國に流入する以前に於ては前に述べた樣な原因によつて滿洲國の都會にも滿洲の文化と云ふ物は體系を持つことが出來なかつた從つて滿洲文學が日本文學を消化する事も出來ず、現在ある所の所謂大陸文學なるものは專ら日本文學の大陸への移植によつて出來上つたものであつて、それまでの日本文學が西歐文學の流入によつて近代日本文學を形成したのとは全然反對の立場に置かれてゐる。卽ち後者は西歐文學を消化することによつて近代日本文學が生れたものであり、前者は大陸を消化することによつて大陸文學が生れたのである。然らば日本文學は何處まで大陸を消化し得たか。否滿洲の都會に果して消化すべき大陸性があつたか。否と言はざるを得ない。日本の精神文化が滿洲へ流入された頃は既に、それまでに流入されてゐた人達の、文化とは無關係な政治的經濟的支配力が文學的大陸性を其處から追ひ拂つた後であつたのである。此處に大陸文學の非大陸性が存在する。現在の大陸文學なるものは、例へば日本の草花を滿洲へ移植したところが枯れなかつたと云ふだけで此れを恰も大陸の草花と稱するが如く滿洲に取材したと云ふ理由を以てのみ日本文學を大陸文學と改稱したに過ぎないのである。

都會には日本から移入された日本的文學のアトモスフヘヤーが充滿し之を消化すべき大陸文學が體系として皆無であるのみならず、現在に至るも都會と僻地との人事の交流がないため、日本文學を消化した大陸文學が生れない上に、日本文學自體も都會にあつては遂に大陸性を吸收し得ず、所謂今日の大陸文學が文學理念の上に育成されたのである。

日本にも大陸の名に因んだ雜誌が澤山發行されてゐる。新京の書店にも賣り出されてゐる。これにも增して大陸文學を毒するものは最近の日本作家の滿洲視察である。一體個性と云ふものはそんなに表面的なものであらうか。半月や二十日で滿洲を視察するなど、考へが最初から間違つてゐる。日本ならそれでよいであらう。日本の都會と農村と

を要求されるものは別として日本文學全般の理念から言へば東京とか大阪とかを見れば日本の個性は充分看取し得るだらう。しかし大陸はそれが出來ない。勿論建國九年と云へば國家理念は一元されてゐるが、それは政治的な意味に於て一元化されたもので、政治とは別個な歩みを持つ精神文化と云ふ意味に於ける國家理念は決して一樣ではない。一口に滿漢蒙民族と云つても其等は無數に分類さる可きものである。只單に日本人を東北人とか九州人とかに區分するが如きものではない。しかも其等雜多な民族が地理的に非常に大きな理念感情の別を持つてゐる。交通網の未發達と、土地の曠大と、人口の稀薄とに因つて各民族、各地域の差違については前述した如く、如何に大きな文化的差違があつても民族の理念、國家の理念の積み重りによつて發生した精神文化のモラル（勿論農村にはそれが文學自體として發生してゐないかも知れないが、それは主觀的な問題であつて客觀的に見た場合は共通したモラルが容易に發見され得る）に至つては全く同一なものがある。從つて農民文學の如く、その發生の根源に他の文學と異つた要素が別による人々の人間性と云ふ物は到底想像の及ぶべきものではない。

さうしたものを日本の作家達は二十日やそこ等の短時日の間に視察するのである。いつもお役人の案内によつて、異つた風物、異つた人種、從つて其の間に釀し出てゐる奇妙な生活狀態や生活感情に接することは作家個人としては一向さしつかへのないことである。またその作家の元來の態度にかける作品に惡影響を及ぼす物ではない。紀行文は紀行として充分價値がある。がそれはあくまで其の作家が育成されて來た文藝體系に止まる點に於てである。日本の作家が日本文學として大陸にかける紀行文を書く場合に於てのみ價値づけられるものであつて、それが大陸文學としては全然別個な立場から批判さるべきものである。

鮮系文化人に望む

滿洲にも相當多數の鮮系文化人が來てゐることが察知される。しかし鮮字新聞上での活動とか、演劇での活動とかを除けば文學の方でのその仕事などはわれわれの眼に觸れずにゐる有樣である。

鮮系の人たちは諺文で文學作品を書くのが多いやうである。それには充分理由があることであらう。それはそれでよいと思ふ。その上で私は、さらにそれを日文に飜譯して讀ませて欲しいのである。滿洲の日文雜誌、新聞みなこれを歡迎するだらうと思ふ。そしてさらにその日譯によつて滿譯される可能性も多分に存してゐるのである。

この國の文學こそ各民族の協調によつて創られて行かなくてはならぬ、私は鮮系文化人諸君の積極的な乘出しを希望するものである。日系、滿系の作品を諺文に移して讀んで貰ふといふ仕事もある。胸襟をひらき手を握り合つて、やつて行きたいものである。（大內隆雄）

「課題リレー」

右本日は都合により休載致します

時事解說

西半球の歐洲國屬領と米國

歐洲の戰局が獨逸側に有利に展開するにつれて、米大陸百國の防衛問題が、米國政界において益す重大視され、これに關聯して上院方面ではパナマ運河地帶の防備強化のため、米國は宜しく英、佛領西印度諸島を領有すべしとの議論が擡頭するに至つた。それは去る五月中頃の事で、さきのレーノルズ議員案は、ミラー、ミントシ、ジレツト、ペツパー等の賛成を得たのである。なほこれら諸上院議員は何れも民主黨に屬し、その主張は枝葉において小異がある、が根本においては大同である。

續いて六月に入つては、米國上院に於いては外交委員長ピツトマンより國務省の諒解を得た上「アメリカは西半球の何れの部分たるを問はずそれが一非米洲國より他の非米洲國に割讓せらるゝを承認せず」との趣旨の決議案を三日議會に提出し、下院に於ても三日外交委員長ブルームより（一）米國は非米洲諸國の一より他の非米洲國に對し西半球の何れかの地域の領有權を移讓若くは獲得せんとする企圖を承認せず（二）若しかかる領有權の移讓乃至獲得が、具體化せんとする場合には、米國は適當なる對策を講ずる外、なほ卽時他の米洲諸國と協議しその共通利益を擁護する手段を採るべしとの趣旨を內容とする決議案が提出、後に壓倒的多數で可決された。

これらは西半球にある佛蘭兩國の屬領地が獨伊の手に入ることを防止する目的に出たものである。米國のこの方面に對する關心を見るべきである。（山口愼一）

ふるさと便り

【千葉】最近木更津附近は鰮が大漁。一人で五百尾は朝飯前といふ凄さ。相場は一尾一錢。

×

【岩手】節米に協力しようと閉伊郡沿岸では「めのこ」混食が始められてゐる。

×

【新潟】新津田家地內の油田が猛烈に石油を噴出し始めた。二十七年ぶりのことで、日產百石はたしかだとのこと。

×

【秋田】小坂鑛山北方に含銅二十六コンマといふ鑛床が發見された。

×

【青森】米の闇取引は全縣下に亘つてをり、板柳町長安田昌藏（三八）氏始め豪農が續々檢擧され、不當利得だけでも約五十萬圓。

×

【北海道】郷土食の奬勵、榮養、節米をねらつた「郷土パン」の製造は、先づ札幌、函館兩市で開始される原料は寒地農業生產品を利用。

葉書回答

初めて活字になつた物

藤山一雄

十五才の時「少年」といふ雜誌に子供が集まつて雜誌を出す會を作るといふので敦賀市（その頃は町）蓬萊町西濱商會內の北川龍太郞君といふのが少年文壇會なるものを創めたのにわざわざ山口から參加し、その第二號の雜誌に「風琴」といふのをかいた。それが初めて活字になつたのだが、まもなく「泡沫」といふ號でやめになり、爾來高等學校の雜誌部委員になるまで活字にしようと思つてものをかいたことはありません。（筆者は國立中央博物館副館長）

高くて驚いた話

甲斐巳八郎

最近滿洲を旅行しませんのと家に引籠つて繪ばかり描いてゐますので、自分の手でものを買ふことが尠くよく知りませんが、去年の春天津の某旅館で一泊、食事をしなくて三十五圓をとられたのにはびつくりしました。部屋など日本でみたらバラック風の和室でした。

女性の表情集（4）

慈愛

外科大森医院

科外一般　科外臟內

三四七四③電　街ヤイダ

世紀の英雄（145）

番伸二　高田よしを畫

大陸少年（十四）

キング・コングの虎公一味が警察に擧げられてから、カイ太とドンちやんは安心して商賣が出來るやうになつた。

雨降りの續いた後でアカシア通りも大山通り浪速町通りも、生き返つたやうに新鮮な感じである。

「新聞々々！」

と、ドンちやんが嗄枯れた聲で怒鳴つてゐると、樣子は少し違つてゐるが、どこかで見覺えのある少年がニコニコしながら近寄つてきた。

「カイ太にドンちやんぢやねえか」

さう云つて二人の肩を叩きながら大人のやうに笑つてゐるのは、原田源太郞に救はれてから哈爾濱を通つて大連へ歸つてきた純吉だつた。

「なんだ。純ちやんか」

「久し振りだつたね。どうだい、大連は變りないか」

「大連は變らないけれど、カイ兄貴の身の上は變つたよ」

「どうかしたのかい？」

カイ太は純吉に覗きこまれるやうに問ひたゞされて、

「お母さんが死んだんだよ」

と云ひ出すなり、新たに胸のうちが熱くなつて、ふツと眼頭に涙が滲み出すのであつた。

「さうか。そりや氣の毒したな」

もう夜も大分更けてきたので、果物屋の前を去り、三人は鐵道線路の方へ歩いていつた。

日本橋を經て露西亞町の方へ。

話しながら歩いて行くと、いつの間にか、北大山通りを突き當つて、大山埠頭に來てしまつた。

白系ロシアのパン賣り爺さんが、パンの籠を抱えて、青白い街燈の光りを浴び乍ら、ベンチへ崩れるやうに坐つてゐた。

「オルガ、オルガ！」

呼ぶ聲が植込みの向ふから聞えると、バタバタ駈けてくる小さな跫音が、純吉達の前を通りすぎた。

金髪の小さい兄妹だつた。何か言葉は解らないけれど、手をひかれて二人は、公園の出口へ駈けていつた。

遊動圓木やブランコや子供の遊び場が多い北公園も、夜は、ひつそり閑と靜まり返つて、何かしら青白い感傷的な雰圍氣が、異國情調を添へて迫つてくる。

それは、孤獨にも似た侘しさだつた。

とあるベンチに腰を下した三人は、呆やり夜空を見上げてゐたが、

「君達。少年赤十字に入りたいと思はないかい」

と純吉が言ひ出した。

「なあ純ちやん。もつと話してくれよ。その匪賊に出逢つた話を」

「つまらねえさ。ただ路面列車を襲つてきた匪賊と射ち合つて到頭奴等を追つぱらつただけの話さ」

「凄えなあ。僕も一遍でいゝから銃を持つて、ペンペンとやつてみてえな」

と、ドンちやんは夢中になつてゐる。

暫くして純吉は、急に改つたやうに二人を眺め乍ら、

「おい。僕は君達に話しがあるんだ。眞面目な話なんだ。聞いてくれよ」

三人は再び歩き出し、露西亞町の北公園へ入つていつた。

國都醫院案內

本欄一手取扱　滿洲國通信社

科目	醫院	所在・電話
內科・産婦人科・外科・花柳病皮膚・小兒科・レントゲン科	畑醫院（內科・性病・産婦人科）入院隨意	豐樂モンテカルロ通　電話（二）一三一〇番
呼吸器・胃腸病	協亞醫院　院長ドクトル伊藤庄吉	滿鐵病院東門前　電話（三）三九〇二番
內科・小兒科・外科・性病科・産婦人科・光線科・物療科	興安病院　院長醫博吉田秀雄	興安大路興亞街角　電話代表（二）五九二一番
皮膚科・泌尿性病科	同仁醫院　醫學博士市橋貞三	平安町一丁目（新京神社北側）電話（三）四二六〇七番（住）二七〇〇七
皮膚科・性病・外科	長岡醫院	光輔路二〇四（寶山横）電話（三）三九五八番
內科・小兒科・皮膚科	伊藤醫院　女醫伊藤淳	百匯街（民生部裏）電話（三）三八二三番
外科・性病	上山醫院　入院隨意	朝日通り二十一番地　電話（三）五五九五番
內臟・外科・整形外科	吉利外科	中央通り四一　電話（三）三三四九番
一般外科・內臟外科・肛門性病	大森醫院	新京永樂町二丁目　電話（三）四四〇三番
花柳病・肛門病科專門	豐樂堂醫院	豐樂路二三五號吉林バスヨリ約一丁西入（北側）電話（三）三九七番
內科・外科・花柳病科・皮膚科	濱田醫院	新京三笠町一ノ二六　電話（三）二八七三番
內科・外科・產婦人科・レントゲン科・物療科	順天醫院　院長醫學博士小橋茂穗	新京三笠町　電話（三）三四五・三六八・七九・七〇
呼吸器・胃腸病・レントゲン科	三谷醫院　入院隨意	新京崇智路一〇八　電話（二）四六八九番
內科・小兒科・泌尿性病科・肛門病科・皮膚科	松本醫院　入院隨意・往診應需	日本橋郵便局前　電話（三）三七五六番
內科・小兒科	折島醫院	新京通化路三〇二ノ九　電話（二）三二九番
小兒科・內科・花柳病科	槇醫院　病院完備	興安大路二ノ五　電話（二）一五八〇番
內科・小兒科	綠醫院　入院隨意	醫學士長住吉勝也　長春大街三〇二號　電話（二）五一〇二番
內科・外科・眼・皮膚・性病科	中野醫院	興安大路五〇二　電話（二）一七〇〇二番
産婦人科		
產科・婦人科	鈴木病院　醫學博士鈴木紀	新京清和街七〇二　電話（二）一八四〇七番
產科・婦人科	田島醫院　女醫田島靜子	新京興安大路四一九　電話（二）二六〇七番
產科・婦人科・小兒科・內科・花柳病科	肥後醫院　入院隨意・往診應需	院長肥後弘子　ダイヤ街老松町朝日通　電話（三）五七〇九番
產婦人科・性病・外科	沖津醫院　醫學博士沖津	新京室町二ノ二　電話（三）五六八九番
產婦人科・婦人內科・花柳病科	康德醫院　女醫栗田すぎ	吉野町四丁目　電話（三）五三九七番
產科・婦人科・產婆派遣	堀山醫院　入院隨意	新京蓬萊町　電話（三）三一八〇番
眼科		
眼科專門	羽牟眼科　醫學士羽牟武志	祝町新京キネマ　電話（三）四二五五番
眼科專門	中山醫院	新京蓬町二丁目七　電話（三）三六五二番
眼科	知識眼科　醫學士知識	新京大和通り　電話（三）六六四六番
小兒科		
小兒科專門	太田醫院	新京神社前　電話（三）三八三九番
小兒科專門	長春醫院　入院隨意・往診應需	新京神社西　電話（三）六一二番
小兒科專門	淺井醫院　入院隨意	新京崇智路六一六　電話（二）一六〇五番
小兒科專門・レントゲン科	古野醫院　入院隨意	新京神社南　電話（三）五一四三番
齒科		
第一・第二醫院	山崎齒科	兒玉公園前・大同大街海上ビル　電話（三）五八〇三番・（二）三五〇三番
	佐野齒科	日本橋通り新京ビル　電話（三）三二六五番
	山口齒科醫院　院長山口	新京豐樂路（國都飯店前）
	龜川齒科	新京祝町三丁目　電話（三）三八二八番
	ヤナギ科齒	中央通郵便局前
	華洋齒科醫院	新京大馬路
	廸羣齒科醫院	新京大馬路　電話（二）二五五八

（第三種郵便物認可）

新京日日新聞

夕刊　九月四日

本紙定價 一ヶ月一圓 郵税十五錢
廣告料金 普通一行一圓半 特別同二圓半
新京永樂町四ノ一 發行所 新京日日新聞社 電(3)三三二〇五番
發行人 十河榮忠
編輯人 和波勲
印刷人 水越内之介

重慶北方の要衝 廣安に猛爆加ふ

海鷲、順慶へも奇襲

【〇〇基地三日發國通】七日に亘る惡天候に空を仰ぎつゝ腕を撫してゐた海軍航空部隊の荒鷲群は快晴に惠まれた三日初秋の風そよぐ〇〇基地の朝露を踏んで鈴木部隊長の攻撃訓示を受けたのち勇躍出動、大編隊を組んで四川奥地の攻撃を實施した、即ち勝見、樋端、増永、鍋田、鈴木、奥山、森田、中井各部隊長の率ゐる編隊群は長江に沿ひつゝ初秋の碧空を快翔して四川盆地上空に達するや密雲に閉され雲中飛行を續けつゝ二時十五分鈴木、奥山、森田、中井の各部隊は重慶北方六十粁の敵軍事要衝廣安を初空襲し市内外に的確な直撃彈を浴せて全市街を猛火に包み、増永、鍋田の一隊は二時廿分重慶西北方九十粁の敵兵站基點順慶を奇襲、密雲を縫つて〇〇メートルの見事な低空飛行をなしつゝ順慶全市街を猛爆、同市を火の海と化せしめ全機無事歸還した

陸鷲、興安爆撃

【〇〇基地三日發國通】〇〇基地支那派遣軍報道部發表　陸軍航空隊の小川、片倉、竹下、鈴木、高橋、松山等の各部隊は本三日奥地攻撃のため前進中、天候不良となりしをもつて午後三時漢水上流の要衝興安の軍事施設を爆撃炎上せしめ甚大なる損害を與へ全機無事歸還せり

【〇〇基地三日發國通】連日に亘つて奥地深く進攻し敵心臓部を爆碎しつゝある陸軍航空部隊は三日またも敵都空襲に向つたが猛烈な惡天候のためやむなく鵬翼を漢水上流に廻らし陝西省の要衝興安を制壓した久し振りの快晴に惠まれて勇躍基地を出發した松山、鈴木、片倉、小川、高橋の各精鋭は長驅敵都目指して進攻したが、急變する奥地の天候は積雲亂れ咫尺も辨ぜぬ荒天と一化したので荒鷲連も涙を呑んで漢水上流方面に機首を廻らし、午後三時半興安上空に達し同地の軍事施設その他に徹底的に巨彈を見舞つた、堂々たる大編隊群より投下される正確無比の爆彈による紅蓮の焔は瞬く間に興安全市街を呑み盡し敵地上砲火も全く鳴を鎭め、わが荒鷲は黒煙天に冲する敵軍事施設を後に悠々薄暮迫る〇〇基地に歸還した

大行山脈に巣食ふ 共産軍を包圍

【太原三日發國通】石太線南方の大行山脈内に展開されてゐる鐵道遮斷失敗の共匪に對する大包圍殲滅戰はいまや最高潮に達しわが精鋭は峻岳を突破してじりじりと包圍網を壓縮、逃げ惑ふ敵匪を隨所に粉碎しつゝあり、銃砲聲は殷殷として岳嶺を揺り動かし峻谷に谺してゐる、即ち和順附近より疾風の如く西北進してゐる鈴木部隊の一部は一日午前十一頃梁維村（和順西北九キロ）附近において二百の敵を撃滅し、さらに敗敵を急追して二日朝西五泉（和順西北方廿キロ）に進出、その主力は二日盛家岀、佛勤祖（和順西北方五キロ）附近において百廿九師の一千五百を猛撃これに殲滅的打撃を與へた、敵遺棄死體七百五十、鹵獲品輕機十四その他兵器彈藥の多數である

一方卅一日南都會村（平定東南方十六キロ）附近において五百の敵を粉碎した

原田部隊は引續き敵を急追して南下中で、田中部隊は西北より、吉野、白隅の兩部隊は東方より、鳴海、鈴木の兩部隊は東南方よりいづれも敗敵を鐵桶下に蹂躪しつゝ包圍陣を壓縮してをり、かくて劉伯承の百廿九師を中心とする雜匪合計一萬を超える共產軍は刻々迫る殲滅を前に收拾すべからざる大混亂を來し徒らに包圍圏内を右往左往してゐる

孔の香港滯在は 攻撃から逃避

松崎健吉氏六日離京　前總務廳參事官松崎健吉氏はこの程對滿事務局に轉出監理課長に就任することになつたが、來る六日午前九時卅分はとにて新京發奉天一泊の後、九日大連出帆の熱河丸で赴任する

独逸の装甲車撮影班

重慶の危機に乘じ 中共、蔣に重大要求

新體制準備二次會議

試案に基く 會議討議内容

英對獨宣戰記念日に 英本土各地を襲撃

獨軍發表

【ベルリン三日發國通】獨軍

一、リヴァプール、スワンシー、ブリストル、プリマス、ポートランド、プールおよびポーツマス諸港およびプリンガム、コンヴェントリーおよびフルトンの各軍需工場を空襲し隨所に火災を惹起せしめた

健全なる娯楽

指導者側の一考望む

近頃のラヂオのつまらなさはどうであらうか、電々會社どはむやみに聽取者が殖えると言つていい氣持になつてゐるやうだが、その聽取者のパーセントが近頃の放送プログラムに滿足してゐるであらうか▼スヰング調のジャズがいけない、時勢に適合せぬ、それは良くわかるのである、しかしだからと言つて近代の洋樂を締め出すことはないのである、あまりに智慧が無さ過ぎる、或ひは文化の仕事に當りながら餘りに卑怯であり

"經濟圏飛躍に備へ 日滿協調圖れ"

山田現地調査團長語る

拓北、拓南の兩局 拓務省に開設

諏訪丸改然 出航に決定

英領基地租借並に 賣艦問題決定

西半球英領の 米租借を承認

地中海での 對英戰況

國務院辭令

着京

出發

畏し三陛下 外米召さる

民草思召されて 御日常の供御に

【東京發國通】畏くも天皇、皇后兩陛下の御日常の供御には外米を召され御身の廻りは只管御節約遊ばすなど凡て時局下の民草の上を思召し遊ばされる由で、葉山御用邸御駐輦中の御料をはじめ宮内官の食料品、雜貨等も地方民の物資需給に及ぼす影響を思召されて宮城から逐々取寄せられると拜承するが、かく民草の上を思召され供御なども「民草と同じやうに」との常々からの有難き叡慮を奉戴して大膳寮では天皇、皇后、皇太后三陛下をはじめ奉り皇太子殿下、各皇子殿下の御前に供し奉る供御の材料も先頃實施されてゐる公定價格により一般と同様のものを奉ることゝなつた、從來は御用商人を通じて鮮魚、蔬菜、青果、乾物、雜穀等品を選び特別の手數を掛けて納品されてゐたもので、この度の食糧品の統制は御料はじめ宮内省の御用品が各國大公使館等と同様統制外となつてゐるにも拘らず公定價格の一般市場のものをそのまま納めしめあらせられたもので「民草と同様に」との思召しのほどに側近者は今更のやうに恐懼申上げてゐるまた秩父宮はじめ各皇族方におかれても大御心を體せられ御質素な御日常を過させ給ふと承るがこの度の生鮮食料品、乾物、雜穀等の統制に關しても實施と同時に一般と御同様に遊ばしてゐられる由で三日午前十時から宮内省に開かれた暑中明け初の各宮家別當事務官會議におても宮様方の御内意を拜して統制嚴守の申合せをなした、宮家にては從來も高價な青果等の輸入品、或は統制外の品々の御使用は殆どなかつた由で、これからも一層制限遊ばされ一方御下賜の御菓子類も統制に從はせられて調整せしめられることゝなつた

難問題も解決

迫つた採煖期にそなへて 石炭節約對策決まる

近づく採煖期に早くも備へて寒さ克服の國策陣を樹立しようと三日午前九時から午後一時まで建築局内で開かれた石炭消費節約懇談會は笠原建築局長を始め在京諸官署、首都警察廳、市公署、大陸科學院、協和會首都本部、日滿商事、滿鐵、石炭配給組合等の實際業務擔當者約三十名が參集建築局を中心に熱心に協議を進め、從來のこの種會議が上層部の空論や技術者の泣言に終つたのと違ひ極めて有效な結論に達し、難問題視されてゐた點を一氣に解決する成果を收めた

まづ在新京官公署煖房集中管理については昨年一月以來實施したところ從來の石炭消費量を約三割節約し人件費についても約二割を節減出來たので今年は奉天、哈爾濱兩市にもこれを擴大強化して實施することゝなり、建築局では兩市官公署の煖房集中管理のため特に臨時出張所を設けるべく準備を進めてゐる

一方會社、アパート並に一般の煖房集中管理は協和會と市公署が協力してこれが慫慂に當るべく取敢へず市公署で關係者を招集協議會を開くことになつたが大體各アパートに煖房組合を作らせ採煖法合理化指導、汽罐士の一元的統制、用炭配給に當らせる模様である

次ぎに採煖用炭配給と品質は大型ボイラーには大體粉炭を配給し小型ボイラーその他には塊炭又は中塊炭を配給、家庭用には燃え難い粉炭その他は出來るだけ避けるやう努力することを申し合せたのは親切な配慮だつた、更に會社住宅等のボイラーの消掃修理に關し首都警察廳が一肌脱ぐことになつたが、これは一般に建設以來ボイラーの消掃を怠り勝ちのため採炭の浪費か相當額にのぼつてゐるので首警で特に係官を派し定期的に檢査を行ひその具體的な指導に當り同時に建築局日滿商事で技術的にこれを應援するわけである

最後に現在の採炭夫の素質程度極めて劣悪でそれに伴ふ浪費も多いのを匡正すべく免許登録制度を設けることになり、その具體策は首警で別に考慮することになつたが、特に汽罐士と呼んで優秀技術のものは保護指導を加へる筈であるまたその養成については日滿商事と建築局で特別機關を早急に開設するやう計畫を進めてゐる

以上四項目を申し合せその實踐を期したわけだが在京官公署の前年度消費石炭總量は一萬一千二百トンで今年はその一割增と見越されてをり、大體昨年同様本年も十月廿六日から採炭期となる模様である

帝旨を奉じ 兩神宮參拜

【東京發國通】國本奠定の帝旨を奉じて阮駐日滿洲國大使は隨員魏、石田兩理事官等を帶同五日午後一時東京驛發列車で西下伊勢大廟、橿原神宮に參拜九日歸京の豫定

國軍の逸材

大臣賞に輝く劉上尉

四日晴れの卒業式を迎へた第八期留日將校學生廿八名中優秀な成績をもつて名譽の陸軍大臣賞に治安部大臣賞(軍刀一口)を受けた劉啓民步兵上尉(二七)は賦順管内上太陽滿屯二五に生れ、康德二年賦順高等公學校中學部を卒業後國軍に投じ第四期滿系候補生として奉天の中央陸軍訓練處(軍官學校)に入學、康德三年八月卒業に際しては優等の恩賜により皇帝陛下より銀時計を拜受し、更に康德五年五月十一日將校學生としても再び恩賜の光榮に浴した無比の逸材である

また駐日滿洲國大使賞を受けた名譽の洪佛影航空兵少尉(二七)は奉天省昌圖縣に生れ、康德元年奉天南滿中學堂を卒業、康德三年六月憧れの軍籍に投じて中訓に入處第五期軍官候補生として研學、同四年九月卒業して間もなく航空兵科に轉じて第一飛行隊附で健鬪してゐたが、昨年留日將校學生として派遣されるに當り參謀司附となつた優秀な青年將校である【寫眞は劉上尉】

秋空の下 聖なる奉仕

◇◇建國忠靈廟創建の本義を體し在京國軍部隊は四日から六日まで聖廟建設に聖汗を捧げることゝなり今四日午前九時から各部隊長以下出場奉仕作業を實施した【寫眞下が國軍部隊の聖奉仕】

◇◇滿洲國防婦人會首都本部では英靈を祀る建國忠靈廟の御創建に感激、今四日午前十時から張國務總理夫人以下三百餘名の白エプロン部隊が感謝の聖汗奉仕を行つた【寫眞上が國婦の奉仕振り—前は張夫人、後は關屋夫人の奉仕振り】

滑空機で 全滿を征服

滿洲空前の壯擧

輝く日本紀元二千六百年を慶祝して滿洲空務協會が再び放つヒット……滿洲空務協會では國內重要都市間約二千六百粁のコースをグライダー曳航機をもつて翔破し、その間各地にてグライダーの妙技を公開するほか講演會或は映畫會を開催し一般民衆に對し大空への關心を昂め航空思想の普及徹底を圖るべく計畫中であつたが、諸般の準備なつていよいよ關東軍、治安部、交通部、弘報處、日本紀元二千六百年滿洲帝國慶祝委員會後援の下に來る十日より二十七日まで十八日間に亙つて擧行することゝなつた

翔破コースは新京—哈爾濱—吉林—佳木斯—牡丹江—敦化—錦州—奉天—安東—營口—新京この距離は約二千六百粁、實所要時間二十二時間を豫定されてをり、使用機はビユッカーユングマン二機を曳航機としグライダーは日本式鳳ソアラー一機及び光式三、一型ソアラーを使用飛行指揮者は本部航空科長弘中正利氏、奉天支部航空技士權田壽吉氏、哈爾濱同別府兼光氏、撫順同久保田太氏、新京同本田政氏、奉天支部機關技士渡邊健藏氏新京同林茂氏等が擔當することとなつた

今回の計畫は滿洲國にては初めて試みる壯擧でこれが實施には萬全を期されてをり成果を期待されてゐる

大陸ろおかる

【大連】興亞奉公日を期して華々しくスタートした保險戰國運動第一日市內五集配局の成績は蓋開け早々件數三千三百八十七件、契約高九百十四萬九千四百九十圓と時局下に微笑ましい貯蓄風景を現出した、此調子で行くと期間中には四萬件は大丈夫だと當局はホクホクの態

◇

【滿洲青報】去る卅日午後三時頃北安省一帶を約二時間に亘り大粒の雹を混へた豪雨あり、殊に慶城、鐵驪兩縣は物凄く家屋の硝子や屋根を吹き飛ばし小屋を破壞し農作物の被害は特に甚だしく今を盛りと出廻つてゐる西瓜、瓜類には大きな穴があき玉蜀黍、高粱等は凡んど葉がサザラに裂け秋蒔蔬菜の如き全滅の狀況で開拓團も滿農も呆然たる有樣

◇

【通化】通化二業組合の一月以降月別賣上高を見ると五月の十二萬八千圓を最高として六、七月は各々一萬圓宛の減少を示してゐるがこれは單に夏枯を見るよりも資金調整の實施による影響と見る向が多く殷賑を極めた通化街の開設景氣にも漸く自肅の風が見られ資源開發に即した堅實な街の發展が期待されてゐる

◇

【齊々哈爾】齊々哈爾市内大衛滿系百貨店瑞慶和經理李名臣氏は綿布不足に惱む市民の困苦を幾分でも緩和しようと統制強化以前からの手持品製綿五萬斤を義俠的に投出し一般市民に公平に配給して欲しいと市公署に

◇

【大連】新體制に順應して「戰時國民生活刷新」の一大スローガンを掲げて金獻納、同會拒否ひは娛樂、享樂抑制に將又華美な服裝、裝飾排斥の警鐘を打鳴らし州民に對し自肅を要望する州總精動提唱の奢侈全廢週間は來る十六日ごろより實施の豫定

ここに高値の原因

臺所の脅威除去に苦心

生鮮食料品高値の原因については市商工科、首警經濟保安股で配給ルートたる卸賣市場で江戸ツ子タンカ調の一と聲でセリで落す仲買人、そこに買出しに行く小賣人、そして臺所へ運ばれるまでに一體どこで値段がもり上るのかを調査してゐたが各方面の新體制に呼應して卸賣市場のセリも自肅調を加味しセリ人がたとひ鮮魚一貫目五圓とセリ上げても、他都市の相場とにらみ合せて三圓にセリに落させると言つた自肅ぶりを見せてをり、然らば何處に高値の原因があるかと言へば小賣人から仕入れて店頭に並べる午後二時すぎでないと其日の小賣値段表が配布されて來ないところに不當セリ上げの原因がありこんな事とは知らぬ國都の奥樣、女中さんは大概二時前後に買出すから、いつも高いものを摑まされてゐたといふ譯で、當局はこの點を先づ是正しなければならぬと對策を講じてゐる

市としても前記の如き缺陷を除去するは勿論であるが近接都市足並揃へてセリの制限が出來なければ國都だけでも獨自に實施する肚でどうしてもセリにかけねばならない鮮魚其他にはセリ最高値を指定してその範圍内で賣らせ他の物は仲買人の手を通じ小賣人から一般家庭へ安く配給すべく目下着々と具體的な研究を進めてゐる

新京=東京 聲の地下鐵

愈よ十日に開通式

蜿蜒三千粁、新京=東京の兩首都を結ぶ「聲の地下鐵」開通記念式典はいよいよ來る十日擧行されることに決定した

躍進の波に乘る日滿通信線聲のラッシュに對し東亞通信網の擴充整備のため電々が遞信省と協力完成した新京=東京間無裝荷地下ケーブル開通式は一部故障のため去る八月十五日擧行のところを延期されてゐたが三日やうやく修理が完成、種々のテストにも上乘の成績を示しまるで市內通話と變らぬ明瞭さで聽き取れると云ふ優秀さを示してをり記念式はこの偉業に相應しく十日午前十時から電々講堂で盛大に擧行され午前十一時第一回の通話が開始され李交通相と村田遞相が三千粁を距てて「聲の握手」の皮切りをなし金新京、大久保東京兩市長王新京商工公會長と八田東京商議會頭、廣瀨總裁と小田遞次官と相次ぎ、一般交驩通話の皮切りとして通信界の兩大御所森田國通社長と古野同盟社長が話を交すこととなつてゐる

更に電々新京放送部では歷史的盛典を午前十時四十八分から十一時三十五分まで實況放送をなすこととなつてゐる

ウイーンの日本博蓋開け

【ウイーン三日發國通】ウイーンに開催準備中の日本博覽會は三日華々しくその蓋を明けた

みぎ博覽會は日本鐵道省ベルリン支局の手によつて日本の產業、手藝、教育制度、風俗および家族制度に至るあらゆる日本の姿を紹介したもので對支戰遂行中この縮々たる日本の餘力に市民は何れも驚嘆してゐる

野犬狩で一石三鳥

新京地方に十數萬頭

新京市內郊外に棲息する野犬は十數萬と概算され市當局の限られたる野犬捕獲期間內に於ては到底捕りつくすことが出來ず蕃殖する一方で最も恐るべき狂犬病の傳播となり或は軍用犬の蕃殖上鮮からざる支障を來すなど被害百出に鑑み滿洲軍用犬協會では毛皮の時期を俟ち市當局と協議の上本年こそは根こそぎ撲滅して見せると意氣込んでをり

その方法として一般市民より一頭幾何かで買上げ更に抽籤附で懸賞金を出すといふ案も考へられてゐるなほ犬皮は水分を絕對に吸收せぬため防寒靴に造れば最適といはれ而も價格低廉なるため皮革拂底の折これが活用は資源愛護の上から言つても一石二鳥にも三鳥にもなるわけである

仲秋節に伴ふ 舊習をも打破

首都本部乘出す

舊曆八月十五日の仲秋節を目前に控へた協和會首都本部では、毎年この期に行はれる滿系市民の物品の贈答及び遊興等の惡習慣を打破覺醒せしめんと分會長、國婦並に社會事業聯合會等の各機關と提携し、目下その準備を進めてゐるが、先づその第一回打合會を七日午前十時より首都本部に於て開催、草案を協議した後更に十二日頃第二次會議を開いて最後的具體案を決定する豫定である

本運動は各分會員の資源愛護運動と協調した組織的宣傳を行ふ一方、國防婦人會を動員して街頭に宣傳ビラを配布する等大々的宣傳方法が講ぜられてゐる

酌婦まがひの女侍らす

飲食店に斷

去月廿九日料理店、カフエー等業者廉正要綱を發令し市內の享樂街に自肅のメスを揮つた首警では更に法のかげにかくれて酌婦まがひの女侍らす不正飲食店の一齊檢擧を近く決行することになつた

綜合藝術展

滿鐵支社で計畫

滿鐵社員の趣味向上並に情操陶冶に資するため滿鐵新京支社では十月中旬第一回綜合藝術作品展覽會を開催することになつた

內容は第一部書道、第二部東洋畫、西洋畫、第三部寫眞、美術工藝品、第四部服物を主體とせる婦人手藝、工藝品の四部に分れ應募資格は滿鐵社員たること、點數二點以內西洋畫は五十號以內に制限されてゐる、搬入は九月二十八日までに支社福祉係となつてゐる

滿洲國の胎動

滿洲義軍秘錄 (三) 庄司鐘吉

莞爾、肉彈を決心

あゝ盛あがる雄魂

さて、義軍とかういふ關係にある通化にかける、植村・安永兩烈士の死に付て書くことにしよう。戰爭中、滿洲義軍の日本人五十五名の中で、戰傷や病氣の爲に後送されたものはあつたが、戰死したものはこの二烈士だけである。(尤も安永東之助の戰死は戰爭直後ではあるが)

植村宗光は新潟縣古志郡東谷村の出身である。東京帝國大學出の文學士で、鎌倉圓覺寺管長釋宗演禪師に師事してゐた。彼の人格、才能は禪林五山に出色し、圓覺寺の法燈は彼に依つて嗣がれると稱せられてゐた。兵役關係としては一年志願兵出身で、明治三十五年三月に步兵少尉となつてゐる。三十七年十一月、新潟縣村松步兵第三十聯隊補充隊に應召して出征すること になつた。

義勇報國 臣子本分
生死交謝 一片斷雲

と詩を吟じ

「昨日までは味噌摺り坊主だつたが今日からは立派な帝國軍人だ」

と洪笑したといふ。彼は沙河に駐つてゐる第三十聯隊に入り、三十八年一月第十一中隊の小隊長として黑溝臺の戰鬪に參加し、二月二十五日鉢卷山の戰鬪で勳功をたてたが、その時の戰傷で野戰病院に送られた。

× ×

二月中に步兵中尉に昇進、八月下旬、敵將マドリトーフは麾下の步騎二千を以て通化奪還のために逆襲する形勢ありといふ諜報が頻りであつた。植村中尉は花田中佐の命により機動二個隊を率ゐて前哨の任につき、四道江・黑瞎溝方面を警戒し、二十七日には退却して來る親衛第一隊を收容し、二十八日には西道江に來襲した敵五百を擊つて一旦之を退却せしめた。ところが翌二十九日、敵は新手を加へて猛烈な勢で逆襲して來た。衆寡敵せず遂に退却にかゝり、僚軍と共に松田大尉指揮の下に熱水河子まで退つた。

し、偶際えて三十八年三月二十八日、滿洲軍總司令部附となり滿洲義軍へ入つて機動隊長となつた。花田中佐が圓覺寺に參禪してゐた關係でお互ひによく識つてゐる間柄である。士は己を知る者の爲に死すといふが、彼が義軍に入つてからの活躍は益す目覺しいものであつた。四月九日同陽頭を占領したのを手始めに、烟道拉子・涼水河子・五連頂子等各地に轉戰して敵を破つてゐる。

いた。この時の義軍の兵力は二百五十名であつた。折しも來着した後備步兵第十四聯隊第八中隊の約百廿名と協力し、熱水河子に防禦工事を增築して敵襲を此處で喰ひ止めようとしたその準備中、植村は部下を監督して陣地を見廻つてゐる時に、掩擊第一隊長安永東之助と遇つた。

× ×

安永は義軍の中でもその人ありと知られる勇將で、その率ゐる掩擊第一隊は最も勇敢な隊であると言はれてゐた。植村は安永に、

「こゝで負けたら通化は危い。お互ひに頑張らう。君の隊も勇敢なところを見せてくれ給へ」

と言つた。すると安永は、

「お互ひにしつかりやらう私は死んでも退却しない」

「では、自分も退却しない」

こゝで二人は手を握り合つて莞爾と笑を交したのであつた。敵は攻擊の鋒先を少しも弛めず、卅日には步騎八百・砲四門を以て海潮の如くに押寄せて來た。雨の如くに落下する敵の銃砲彈、特に大砲の威力は逞しく、機動隊の兵隊は或は傷き、或は斃れ、或は逃げて支離滅裂の狀態となり、殘るは僅かに數名となつた。

× ×

そこで金子克己(玄洋社社員、後に改姓して福任克己上海乍浦路景林蘆十五居住)は植村中尉に、「殘念ながら一旦退却するよりほか方法はないと思ふ」と言つた。すると植村は、

「安永君と約束して、あくまで此處を死守しようと決めてゐる。安永君が退却したならば自分も退却しようさうでなければ此處で斬り死にするつもりだ」

と答へた。さうして、安永の掩擊第一隊はどうしてゐるか見て來ようと一人で山を下つて行つた。ところが彼の姿はその時から杳として消え去つたのである。【寫眞は花大人(上)と植村中尉】

國都へサーカス團

梅ケ枝町の空地で

日本ハーゲンベック山根大サーカスはいよいよ五日から市內梅ケ枝町埋立地八島小學校下空地の大テント劇場で華々しく開催する、時局柄サーカスつきもの綱渡り等を遠慮するが演技は大曲藝曲技を主に花の如き娘子軍が鳥か蝶かと云はれる空中わざからレビュー、日本固有の水藝曲藝の名人、ラクダの曲藝、名犬、人とカンガルーの拳鬪、その他奇抜な番組で平日晝夜二回、日曜祭日は

國調記念郵票

十日に發賣

十月一日全滿一齊に實施される臨時國勢調査を記念すると共にその趣旨の普及を圖るため記念郵票がいよいよ來る十日から一齊に發賣されることとなつた

種類は二分と四分で、前者は滿洲地圖を背景に申告用紙をもつ調査員を描き、後者は「國の隆昌國勢調査、書いて出しませう有りのまゝ」の都々逸口調を滿蒙兩語に移した宣傳標語を記載した何れもオフセット二色刷である、なほこの月は(日取未定)二千六百年慶祝郵票の發賣もある筈で、切手蒐集家には嬉しい切手滿洲國の催しである

午前九時から開演する家族づれの觀賞に適してゐるのと、恰もお祭月と謂はれる九月のことで休日が夥しいから大入滿員の盛況が豫想される【寫眞は出し物の一つ】

六大學リーグ 日割決定

【東京發國通】一本勝負の新體制六大學秋季リーグ戰試合日程は三日文部省の內諾を得たので左の如く發表された

△九月十四日入場式、東大=慶應△十五日早大=立教、法政=明大△廿一日法政=早大△廿二日明大=東大、立教=慶應△廿八日早大=明大△廿九日立教=東大、法政=慶應△十月六日東大=法政、明大=立教△十二日明大=慶應△十三日法政=立教、早大=東大△十七日早大=慶應

富士町の怪火

二日午後十一時五分頃新京富士町四丁目二番地恒發祥倉庫(所有者王星垣)から出火、倉庫內の紙類を燒失して同十一時半鎭火したが、同倉庫は日頃火氣を使用しないところから出火原因を不審として關係者を召喚取調中、なほ損害は二千餘圓の見込み

本社寄託獻金

市內山吹町二丁目二番地中村茂さんは孃に愛娘明子さんを亡ひ、四日忌明にあたり時局柄香奠がへしを節約し關東軍へ恤兵金一封を獻金したしと日本社へ寄託した

團體往來

△龍田丸船長一行 午前十一時四十二分平壤から
△岩本對滿事務局員一行 午後五時三十分哈市へ
△佐賀商業生 午前七時四十五分奉天から
△長崎縣滿洲開拓地視察團 午前十一時廿四分拉法から
△滿蒙青年義勇軍慰問團 午前十時三十分昌圖から
△哈市師道學校生 午後十一時三十分大連へ
△大連小學校生 午前八時三十五分奉天へ
△滿洲生鹽共同現地調查團 午後一時四十分奉天へ
△群馬縣滿洲開拓地視察團 午後一時三十分哈市から

明日の催し

(五日)
△協和會動員會於國防會館兵士ホーム午前十時
△滿拓會議於國防會館正午より
△興業銀行五日會於中銀クラブ正午より
△協和會首都本部會議於中銀クラブ午後三時より
△新京實業軟式野球大會第五日於南嶺午後四時より
△石材共同販賣業組合總會於記念公會堂午前九時
△蔬煙草生產委員會於記念公會堂午後一時
△新京商工相談所會合於記念公會堂午後五時より
△國民動員大會打合會於記念公會堂午後五時より
△新京料理組合會合於記念公會堂午後五時より

今晩の放送

▲七・三〇(大阪)國民歌謠「南進男兒の歌」JOBK唱歌隊男聲部▲七・四〇(東京)管絃樂時局ラヂオ道場(四)「興亞の光」他、東京放送管絃樂團他

ウレシュウとジョーキ

「七つの海」以來、一體何度顔合せ映畫を作つただらう、ウレシュウとジョーキの二人、ウレシュウとは江川宇禮雄ジョーキとは岡讓二の愛稱であるが一寸思ひ出しても「地上の星座」「慈悲心鳥」「玄關番とお孃さん」「沈丁華」「多情佛心」等々數かぎりない（わけでもなからうが）岡讓二が日活を脱退し東寶の傘下に走つてからの江川は、彼の何處かエキゾチックな線の細かさを生かす脚本にも、監督にもめぐまれなかつた、東寶映畫「太陽の都」は先頃新國劇で上演好評を博した北條秀司の「丸の内仲通り」の映畫化である、演出は「御存知東男」以來半年振りの瀧澤英輔のメガホンで、先般日活を脱退したウレシュウが張り切つて岡讓二との共演ものである

先づ〝文樂〟一行　次いで〝寶塚ショウ〟
初秋、來滿演藝戰酣

秋シーズンのトップを切つて今九月來滿の演藝陣はなかなかの多彩ぶりで日本内地の演藝人連、七・七の檢閲強化以來・勝ひ大陸への關心が積極化したとの噂さへある先づ大物は何と言つても大阪文樂座の人形淨瑠璃之邑、文五郎紋十郎始め一座全員の大擧來演（新京公演十日、十一日於厚生會館）であらうが、それより青年男女層向き絶對的に大當りするものとして「寶塚ショウ」一行六十餘名の公演がある、之は〃滿藝〃の斡旋で滿洲及び朝鮮を巡業するものであるが、中には東寶映畫に例のユーモラスな演技で國都ファンにも御馴染の森野鍛治哉を始め、ポリドールの〆香の特別參加などあり演しものは岸田辰彌脚色、島村龍三演出の歌劇「春香傳」十四景、屋原德作、木下計治演出「戰地から來た歌」四場、志村治三郎構成演出、ヴアラエテイ「輝く二千六百年」十四景、等九日大阪を出發、大連を振り出しに鞍山、撫順、錦縣、奉天、吉林、ハルビン、チチハル、新京、濱津各地を巡演、新京公開は今中旬頃となららう、その他では先づ六日帝キネ登場の松島詩子と其の樂團、中旬長春座の壽々木米若、美ち奴、楠木繁の一行、キングの驚歎手新橋みどり浪曲の篠田實いづれも中旬より下旬にかけて國都に公演の豫定である【寫眞は上よりシーズン最初の松島詩子、壽々木米若、美ち奴、寶塚ショウの森野鍛治哉、特別出演の〆香及び國寶的存在文樂人形淨瑠璃の舞台面】

舊友

久し振りに村上正義君に會つた。彼は、私が知り合つた時には某漢字新聞の記者であつた。ケンケンガクガクの士で、アルコールなどが入ると凄まじいくらゐに荒廻つた。

時移ること幾星霜彼は今や教育關係の仕事をやつてゐるのであるから、人間も變るものである。

「酒はどうです、近頃？少し鬪つたやうぢやないかね？」

私は彼にさう尋ねて見た。

「ウム、もうあまり飲まん」

彼はおだやかにさう答へたものである。

「やつぱり年のせゐだね？」

私はさう言つたが今度は彼はだまつてゐた、見ると、彼の頭髮もだいぶん薄らいでゐるのであつた。

そのうちに、當今の官吏論となり、くだらん奴らはどんどん馘首してしまへといふ議論になつた。この點では彼もまだ往年の意氣を持つてゐるかに見えた、もう一人の傍にゐた男がその時に言つた。

「この人は役所の大きな机に坐つてゐて、机の上には何も置いてないのさ、ただ大きな楠木鉢が置いてあるのだ」

そんことを言ひ出した。私は髭面を撫でながら撫然としてゐるであらうお役所での彼の風貌を想像してみた。それは古い東洋的な「衙門（ヤーメン）」風景でつた。

ところがその彼が突然「それも豫算や何かがうるさくてね」

と言ひ出した。

「ほう、村上君も豫算なんてことを言ふやうになつたんだからね」

さういふ批評が一隅から起つた。彼は苦い顔をしてるだけであつた。

それは、さう言はれたことに對してでなく、この俺も算盤をはぢいたりせねばならんといふことに對す自嘲であるらしく私には思へたのであつた（相澄間川）

健全な新劇を　文學座の舞臺か　築地小劇場

八・二三廉正で再出發する事となつた築地小劇場はあくまで健全な新劇を哺育すべく先づ「文學座」と長期公演の交渉を開始した他「藝術小劇場」「東童」その他群小新劇團にも進んでその公演場に提供し他の興行會社に身賣りせず獨自の立場から健全新劇の殿堂を死守することになつたが、經營上音樂舞踊、映畫、漫才等にも小屋貸して採算を考慮しその他の具體案については九月二日正午から重役會を開催討議するがその折築地小劇場と言ふ名稱は過去を聯想するものとして新體制の劇場名に變更する事に決定した

鈴木澄子　アメリカへ

◇…新興京都の鈴木澄子と伴淳三郎は日米興業の手で十一月から四ケ月間の豫定で渡米、日本精神島揚のテーマを持つ演劇を各地に上演する

俳優か？落語家か？
〃宙に迷ふ金語樓〃

柳家金語樓は落語家かそれとも俳優か、解つた樣な解らぬ樣なこの二筋道がたうとう警視廳の技藝者之證を續つて宙に迷ふと云ふ結果を招來した—金語樓と云へば新作落語のナンバー・ワンとして定評があるが近年は正月以外は寄席に近寄らず、專ら舞臺と映畫を專門に稼いで居りそのため落語家仲間の評判も芳しくない程で、最近は更に「金語樓劇團」の看板で恰も俳優が本職になつた觀があり、それかあらぬか、警視廳への技藝者之證申請も、講談落語協會からではなく「金語樓劇團」として行つてゐるので、俳優協會へも參加せざるを得ず、俳優協會、講談落語協會でも金語樓は一體噺家か俳優かと今更の如く頭をヒネつてゐる

笑ひの脱線
〃〃吉本の藝人の覺悟〃〃

★……笑ひをふりまき過ぎて脱線、大きなお目玉を頂戴したほやき漫才の文雄や石田一松を抱へる吉本興業ではエンタツ、アヤチコ等全專屬藝人を集め新體制下にだける藝人の覺悟に就いて經濟保安課山下部長の好意により座談會を開催大いに得るところあつた

文化映畫紹介　海中を覗く

製作……東亞發聲ニュース映畫製作所
演出……赤佐正治
撮影……藤田英次郎

▼・▲

魚介類が私達にとつてどんなに大切なものだかよく知つて居乍ら彼等の生活模樣への關心は割合に薄い、餘りに身近いのに狎れてその棲息狀態や本能、習性についてさへも知らなかつたのではないでせうか

この映畫はそれらについて詳細に語つてくれます、カメラは先づ黑潮に乘つて南海の海中に進みます、すると忽ちあの龍宮城の傳說が世にも妖しい現實となつて私達の眼に入つて來ます、海草の密林の中に繰展げらるる生存競爭の姿は、神秘の氣泡をはらんで私達の心を捉へます、これはカメラの魔術によつて再現された海中祕境のレポルタージュです

各社秋の製作陣

東寶　異色篇多數

東寶はこの秋シーズンにどんな大作を發表するか、この主なる物を列記すると、企畫以來既に三年と云ふ、阿部豐演出の航空映畫「燃ゆる大空」が九月第四週、同じく一ケ年の長期計畫で製作の山本嘉次郎演出「馬」が十月第四週に登場、この二本が長期映畫の双璧でいづれも二本建て興行の大作、その他には島津保次郎演出原節子丸山定夫主演「二人の世界」瀧澤英輔演出、岡讓二、江川宇禮雄主演「太陽の都」今井正演出、大河内傳次郎、三谷幸子主演「閣下」山本嘉次郎演出、エノケンの「孫悟空」成瀨巳喜男演出、藤原鶏太主演「きつね馬」萩原遼演出「蔦」等があり更に渡邊邦男演出、長谷川一夫、李香蘭、汪洋の日滿支三國スター競演「熱砂の誓ひ」も晩秋の呼物とならう、この他東寶は、島津保次郎管監の次作「白鷺」東京發聲の「大日向村」南旺映畫「煉瓦女工」「流賊の人々」等の異色篇を擁してゐることも非常な強味である

レヴュー（一）南へ進む

新體制下の時局に即應して演藝界はいづれも國策型に塗替へられつゝあるが、レヴュー方面では逸早く南方ルートに進出し、九月は南進レヴューが各方面で實演される即ち東寶劇場の寶塚少女歌劇宇津秀男現地出張みやげ「サイパンパラオ」を初め、國際劇場は第三週から南方航空ルートに取材した松竹樂劇團公演が決定、更に日劇では第二週に新垣澄子出演の『琉球八重山ショオ』の公演等が確定してゐる

雜音

豐樂劇場寫眞替り松竹再映番組で「家庭の旗」と「仇討戀人形」二本、普通日をうけた番組だけに二本ともスターヴアリユウの乏しい平凡ものの「オリムピア」は七日目に到るも相當な餘力をみせ盛んに拍手が沸いてゐる、東京では初日警官の出動する程の殺到ぶりをみせたといはれるから程と思はせる▲帝キネの記錄破りの盛況も成功帝キネに次いで長唄の松永和風の來演が傳へられてゐる、實現すれば相當の話題を提供するであらう▲浪曲の方も壽々木米若（長春座）に次いで篠田實が朝日座にお目見得すると云はれるから浪曲ファンには樂しみが重なる▲歌謠歌手にもその他二、三取沙汰されてゐるものがあるが千變一律な舞臺を見せられるのでは困りものだ

貿易管理の全貌

（一）

經濟部ではさきに輸入聯盟を結成して生活必需品の輸入並びに國內配給の統制を強化したが、更に近く三十數商品にわたる對日輸入物資に就て夫々商品別に輸入統制組合を組織し、對日輸入物資の全面的統制を行ふ筈で、目下之が準備を急いでゐる、それとともに多年の懸案であつた滿洲國、關東州間の貿易上の摩擦を一擧に解決する意圖を以て現在中央銀行內にある臨時爲替局を改組して之を擴大強化し臨時貿易局を設立する案をたて、目下關東州廳と折衝中であり、又對北支の貿易、金融關係を調整し、滿支間の經濟關係を強化する意味で對支貿易協議會の設立がもくろまれ、これも近く具體化する筈である、即ち內にむかつては滿關貿易行政を一元化するとともに、外にむかつては對日貿易を徹底的に管理し對支貿易協議會によつて對支輸出を統制して滿支間の經濟關係を調整せんとするもので、滿洲國貿易史上に於ける エポック・メイキングな出來事といはねばならない

輸入聯盟の結成は國內的な必要にもとづくものであつた、支那事變の長期化につれて日本から滿洲にはいつてくる物資の量が漸次減少する傾向を見せ、値段があがりそれに伴つて國內の諸物價が昂騰し、闇取引が段々に旺んになつてきたので、石鹼、洋品雜貨、海産物、琺瑯鐵器、乳製品、罐詰だけに就てます、かかる悪傾向を蔑止せんとし、そのため輸入聯盟をつくつて輸入價格と輸入品の量を統制し、輸入聯盟の下部配給機構として、卸聯盟、小賣聯盟を結成して、之等商品の配給を統御し、しかして販賣價格を低位に維持せんとした、即ち闇取引を防止し低物價策をとるといふのが終局の目標であつた、しかして輸入聯盟と前後して、結成されたベニヤ板、自轉車、ビール等の輸入統制組合もすべて同じやうな性質のものであり、同じやうな國內的必要によつて計畫されたものである、しかし政府が今般新たに纖維、疊表などにいたるまで、抱括的に輸入組合を結成し、全面的に對日輸入を統制せんとするのは、友邦日方側の要望と事情とにもとづくものである

先にも述べたやうに日本では戰爭狀態の長引くにつれて漸次物資が缺乏しはじめてきたそして圓ブロック向輸出を從來通りに放任しておく時は、日本國內に於ける國民の消費生活を壓迫し、物價を昂騰せしめ且日本の對第三國貿易にも悪い影響を及ぼす事が明らかになつたそこで日本側では企畫院を中心として種々之が對策を練つてゐたが、結局ブロック向輸出の統制を強化し、滿洲（滿洲國及び關東州）北支、中支、蒙疆に對して夫々輸出割當量を決定するより他に方法がない事が明かとなつた、そしてこの見透しはたゞちに實行に移される事になり企畫院では總裁の名を以て次のやうな圓ブロック向輸出對策を發表した

イ、わが國より供給すべき物資の數量はわが國の第三國輸出の維持進展及び國民生活の確保に支障なき範圍とし滿洲より供給を受ける物資の數量は現地の事情の許す限りなるべく多からしめる

ロ、交流物資は各地域の消費統制方針ならびに滿支における圓系通貨價値維持政策に即應し適當なものを選ぶこと

ハ、滿支に對する出超額は貿易外收支上の支拂超過額に照應せしめもつて對滿支國際收支均衡を圖ることを主眼としてこれを實施し、對滿支の各輸出入計畫及び各貿易外收支計畫を設定した、しかしてこれが實施のためには各地域ともにその輸出品の蒐荷及び輸出機構の整備を圖り交流物資の價格を統制するなど各般の措置を講ぜねばならぬ

しかして滿洲國今次の貿易機構の整備充實が、この企畫院總裁の聲明の線に沿つて行はれた事は勿論である

鶴崗炭礦の出炭
成績甚だ顯著

阜新、西安、北票等中南滿諸炭礦の開發進捗に伴ひ滿炭では本年度より開發重點を北滿に移行し鶴崗炭礦の開發促進に全力を傾注しつゝあるが、最近に於ける全國的出炭減のうちにあつてひとり同炭礦の躍進的增産は種々の點で極めて注目されてをり、同炭礦の五採炭所中現在本格的出炭を見てゐる採炭所は興山、南嶺東山のみで大嶺、陵鏡の開發事務所は明年末までは本格的稼行は不可能と見られてゐるが本年一月以降の出炭成績は豫定計畫に對し一月九七%、二月九四%、三月一〇九%、四月一〇九%、五月一〇八%六月九五%平均一〇二%の好調を示してゐる、六月の九五%は稍不成績であるがこれは北支への送金制限等による苦力の移動激化が原因で政府の應急對策により七月に入るとともに漸次移動率も低下し從前の好調を恢復してゐる、この一般の豫想を超える顯著な增産の原因としては資材の優先的配給、炭層の好條件等が擧げられてゐるが、特に苦力移動率が他の諸炭礦に比し非常に少いことが最大の原因とされてをり、滿炭系諸炭礦の苦力移動率は平均二五%といはれてゐるが同炭礦のみは僅かに一〇%程度に過ぎず、この點勞務機構の最も完備せる滿炭撫順岸礦よりはるかに好成績を示してゐる、これは同炭礦が採用してゐる把頭制が炭礦勞務行政の現狀に最も適合してゐることを實證するもので目下重大懸案となつてゐる炭礦勞務行政の將來に有力な示唆を與へるものとして極めて注目されてゐる

商品擔保巨額
＝六月末銀行貸出內容

經濟部金融司では通貨の膨脹物價の昂騰を貸出の方面から抑制する前提として過般全滿各銀行に對して六月末現在における貸付擔保內容を報告すべく通達したが、その後各行共夫々報告するところあり全滿四十三行の中、未だ報告の提出をみざるものは中央銀行だけになつたが十億圓に上る中銀の貸出は政府、特殊會社關係が主で思惑的買溜等の貸出は殆ど無いとみられてゐる現在まで報告された擔保內容についてみるに商業資金の貸出は約二億圓に上り、約一億圓が商品（見積評價額二億圓）を擔保としたもので殘りの一億圓は不動産擔保並びに信用貸である、しかして商品擔保の貸出總額一億圓中綿絹糸布（評價五千五百萬圓）擔保が二千五百萬圓で最も多く、木材擔保の九百萬圓がこれに次ぎ綿絹糸布、木材を除くと毛糸布、紙、食料品、金物類を擔保としたものが最も多い模樣である、なほ全滿銀行貸出總額は廿四億圓であるが、中銀、興銀の貸出が合計して十九億圓、興農合作社の貸出が一億五千萬圓と見積られてゐるので、他の一般銀行貸出は三億五千萬圓であるから商品擔保の貸付割合は相當大きいわけである

火保調整問題解決
統制具體化へ

去る八月一日附結成せる滿洲火保協會では關東滿火外委員會社等十社を中心に懸案の代理店調整問題に就き研究を續けつゝあつたが、代理店手數料を除き未完成の代理店規則に規定すべき代理店の限界に就き在滿外國系（日本を含む）諸會社との間に原則的諒解に到達したので委員會においてこれが成文化に着手九月中旬迄に脫稿の上政府の認可を得て八月一日に遡及實施する運びとなつた、即ち康德四年以來の懸案たる外國系諸會社代理店の整理問題に付ては今日と雖も直ちに一店一社主義を實行に移する時期尚早なるためこれが暫行措置として

一、代理店契約會社は原則として二社乃至三社とする

一、在滿外國系（日本を含む）擔保會社の契約代理店は十店乃至十五店としその數は該會社の內容に應じて限定する

旨の規定をなし、それが實施に當つては別に代理店整理規則を制定の上各社の所有代理店數並に一代理店の契約會社を決定することゝなつてゐる、從つて右の措置により一社の代理店濫立と、一代理店の多數會社との契約等により起る火保業界の無用の摩擦は可及的に調整を見るものと期待されるが政府はこの結果適當に調整された各社の代理店に對し目下留保中の火保業法による正式認可を與へる方針を持してゐる、なほ代理店整理と並行して保險料の引下についても具體的研究を進めることゝなつてゐる

工人輸送事務打合會

工人輸送事務打合會は、三日午前九時から鐵道總局第一會議室に於て滿鐵營業局長始め鐵道總局、各鐵道局、主要驛華北交通、大連汽船、勞工協會、ビユーローなど關係機關代表者約五十名出席の下に開催本年度工人輸送の實績報告特に現場主要驛の取扱狀況についての報告を基礎に輸送上の改善策につき意見の交換を行ひ、引續き明年一月から十二月までの輸送計畫につき總局案を中心に打合を遂げた

紙類の規格を統一
約一割增産へ

經濟部では紙類の對日輸入逼迫化に鑑み、國內自給自足の目標で各種對策を實施しつゝあるが近く全滿の製紙規格を統一することゝなつた、現在全滿の製紙工場は其の數十五六を數へるに過ぎないがこれら各工場は現在區々に各種規格の製紙を行つてゐるので紙類の規格を統一し、輸入模樣紙等は爾後製造を禁止し總て無地紙のみとし、紙の厚さも使用し得る程度にとゞめ一般向な紙類に重點を置き、各工場に割當製造せしめることに決定したものでこの結果略一割の增産が可能とみられてゐる

泉頭の小野田工場擴張

滿洲小野田洋灰會社では泉頭工場（奉天省）の增産設備が認可されたので近く工場增設に着手することゝなり完成は康德九年三月の豫定である、同工場はこれによつて現在の能力十六萬トンは廿九萬トンに增加することゝなるが、工場の設備には小野田の大分縣德浦工場の遊休設備を一部移駐せしむることに決定した、なほ移駐される燒成窯はレポル式廻轉窯で、この窯の特徴は石炭の消費量が比較的少い點にあり現在レポル式廻轉窯を使用中の工場は小野田系の牡丹江、小屯子の二工場がある

天和、天泰兩銀行增資

哈爾濱所在の天和、天泰兩銀行は從來資本金五十萬圓であつたが、法定資本金百萬圓に達する爲その增額增資方につきかねてより經濟部當局に認可申請中であつたがこの程經濟部指令を以て右增資認可の旨を通達された

商況（四日前場）

▲海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二三片二分一
同先物	二三片一六分五
紐育銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米弗爲替	四弗〇三仙二分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	五弗三二仙
英日爲替	一志二片二分一
英佛爲替	三片六分[illegible]
米伯爲替	三九仙九五

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	五四弗八分五
アナコンダ株	二一弗八分五

▲紐育棉花

限月	相場
現物	九仙九八
十月限	九仙三六
十二月限	九仙三〇
一月限	九仙二〇
三月限	九仙一四
五月限	八仙九九
七月限	八仙七八

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二〇一留比〇
オームラ	一七八留比二分一
ベンゴール	一四五留比三分一

各地株式市況

東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
帝蠶	[illegible]	[illegible]
洋鐵	[illegible]	[illegible]
日船	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
郵石	[illegible]	[illegible]
同立	[illegible]	[illegible]
日業	[illegible]	[illegible]
日工	[illegible]	[illegible]
滿電	[illegible]	[illegible]
東鐵	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
德書	[illegible]	[illegible]

大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
日書	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]

大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐵新	[illegible]	[illegible]
豆土	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布：九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible]

▲大阪棉花：九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible]

▲大阪期米：當限、中限、先限 [illegible]

▲大阪人絹：當限、五月限、六月限、七月限 [illegible]

▲横濱生糸：九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、現物 [illegible]

「資本主義世界の人口の三分の二が戰爭に引込まれ、戰爭が交戰國のみならず中立國の經濟にも決定的影響を及ぼしてゐる現在の諸條件の下において」「一九四〇年の發展に科學的根據ある見透しを與へることは難かしい」▼「交戰諸國で社會的總資本の現物の蓄積が行はれず、基本的資本は擴張されずして絶えず磨滅され縮小して行くのみである限り、確實な週期的回復または上昇のあらゆる可能性は存在しない」▼以上はE・ヴアルガの所說を引用したもの、彼はそこからアメリカの強大化を豫想してゐる、だが事實が果して彼の豫想した通りに動いて行くかどうか、これは今後に見ねばならぬ問題であらう、資本はつねに敏感である、まして戰爭に面しては經濟學の常道も狂はざるを得ぬこともあるに違ひない

腕づく半次
（雙葉上演映畫化）　中川雨之助　西正世志畫　【122】

小判の光

モウ仕方がなくなつた。
『默、といふのではないが、拙者のやうな未熟者では』
『それは餘計な謙遜といふものですよ。ネ、承知してくれますか』
『如何にも、承知いたした』
泣きたいやうな氣持で、鐵之助は、齒を喰しばつてチツと堪へた。
『マア、嬉しい。妾もこれで、やつと肩の荷が下りました』
お源は、頓に、晴々とした顏になり、半纏の襟を搔き合はせて、盃を取り上げ、
『サア、固めの盃ですよ』
鐵之助も、今度は、溢々ながらそれを受けねばならなかつた。
火の玉組の用心棒と、相談がいよく極ると、鐵之助は、家のことが、假に、氣になり出して來た。
『いづれ明日、改めて伺ふとして、今夜は、これでお暇しよう』
もう、強ひて引留めようとはお源もしなかつた。
『話が極まれば、モウ家の者も同然。チツとも遠慮は要らないから』
といつて、さつきの金包みを無理に渡され、
『お言葉に甘え、遠慮なく頂戴いたす』
押戴いて、それを懷に納ひながら、胸底へ、なんとなく込み上げて來る悲哀を、鐵之助はまた堪へ忍んだ。
その時に、不圖彼は、まだ自分の姓名や、住所を打明けてゐないことに氣がついた。
住所は兎も角も、敵を持つ身であり、殊に用心棒としても、本名は名乘りたくない。何とでも、出鱈目の名を名乘つて遣らうと思ひながら、
『拙者の名前は……』
と、言はうとするのを、慌てゝお源は抑へて、
『いゝえ、お名前も、お住所も、今夜は聞きますまい、約束も反古にしないで來て下さるあなたなら、お名前なんか、後でゆつくり聞けるぢやありませんか……若しまた、是つきりで、來て下さらなけりや、その時はその時で、惡い夢を見た、と思へば濟むことですもの……』
よく鐵之助の意表に出たがるお源であつた。
弱點を握られて困る以上、何と云はれても仕方がない。
唯々として鐵之助はお源の家を出た。
てしまはれたのでなからうか』
と、お市は、不圖そんな悲しいことを考へたが、直ぐに氣がついて我と我が心を叱つた。
雪の夜風が、針のやうに身にしみるが、彼は、夢のやうな、今夜の出來事を、頭の中で繰返し乍らチツとも寒いとは思はなかつた。
『俺も、隨分、成り下つたものだなあ…』
頓に涙を傳はらせながら、斷腸を絞るやうに云つた。が、懷に差入れてゐる片手が、お源に貰つた金子包を握つてゐることに氣がつくと、理窟を拔きにして、胸が喜びにはずむのである。
『小判の光は久し振だ。これで醫者を迎へて…坊やに春衣も買つてやつて兩人は、どんなに喜ぶことだらう…』
步調が急に、早くなつた。
傳通院の四刻（十時）の鐘を聞いてから一ト刻過ぎても歸らない病婦の胸は、次第に不安に騷いで來た。
傳通院脇の家では、病床に、寢もやらず鐵之助の歸りを、お市は待ち詫てゐた。
たうとう眞夜中も過ぎてしまつたが、それでもまた歸らない。
犬が頻りに吠える。
『妾たちがあまり苦勞をおかけするので、何處かへ行つ

九星（木曜 九月五日 辛亥 大安 平 井宿）東京・本郷・御誠館

●一白の人 分に叶ひたる事には大吉の日開店起業皆吉 巽と北と壬が吉
●二黑の人 運氣強大にして諸願成就すべし入學就職吉 乾と丙と庚が吉
●三碧の人 多くの難事入り込み來りて內に助け少き日 艮と坤と壬が吉
●四綠の人 行詰り勝の日別に進路を求むべし飲食注意 北と壬と丙が吉
●五黃の人 自ら責る事強ければ衆望集りて榮達を見る 丙と南と乾が吉
●六白の人 明朗の助けありて存外の光榮に浴する吉日 南と艮と壬が吉
●七赤の人 幸福の人よりも不運の人を見て自省すべし 南と乾と巽が吉
●八白の人 催せし陽氣が次第に增進し吉福を招入る日 南と丙と庚が吉
●九紫の人 心急立ち衝突を生じ易き日斷き事は特に凶 坤と北と南が吉